



平成27年11月12日

各位

会社名 株式会社東理ホールディングス
(コード番号 5856 東証第2部)
代表者名 代表取締役社長 福村 康廣
問合せ先 取締役副社長 藤原 克英
(TEL. 03-5524-7851)

特別損益等の計上、平成28年3月期第2四半期業績予想と実績との差異、 通期業績予想の修正及び剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成27年5月15日付「平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて開示いたしました、平成28年3月期通期業績予想を、最近の業績動向等を踏まえ、下記のとおり修正いたしました。また、平成27年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

記

I. 特別損益等の計上について

1. 特別損失の計上

個別及び連結業績に反映されるもの

・役員退職慰労金…48百万円

連結業績に反映されるもの

・子会社(株ボン・サンテ)での固定資産売却損…11百万円

2. 営業外収益の計上

個別業績にのみ反映されるもの

・子会社(株創育及び株創研)に対する貸倒引当金戻入…26百万円

・子会社(株創育)に対する投資損失引当金戻入…93百万円

個別業績及び連結業績に反映されるもの

・償却債権取立益…34百万円

連結業績に反映されるもの

・子会社(老松酒造株)の受取配当金…2百万円

・子会社(株ボン・サンテ)の転貸不動産賃貸料…13百万円

・子会社(株ボン・サンテ)の通貨及び金利交換取引契約による利益…2百万円

・子会社(株ボン・サンテ)のインスタ店舗収益…3百万円

3. 営業外費用の計上

連結業績に反映されるもの

・子会社(株ボン・サンテ)の転貸不動産賃借料…12百万円

・子会社(株ウィッツ)の控除対象外消費税…4百万円

II. 業績予想の修正等について

1. 第2四半期連結業績予想数値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正(金額の単位:百万円)

(1) 平成28年3月期第2四半期累計期間業績予想数値との差異(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	9,329	254	258	208	2円39銭
今回実績(B)	9,387	320	360	254	2円92銭
増減額(B-A)	58	65	102	45	—
増減率(%)	0.6	25.7	39.6	22.0	—
(ご参考)前期実績 (平成26年9月中間期)	9,170	△85	△24	127	1円36銭

(2) 平成27年3月期通期業績予想数値の修正

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	18,765	500	508	502	5円77銭
今回修正予想(B)	18,823	565	611	546	6円28銭
増減額(B-A)	58	65	103	44	—
増減率(%)	0.3	13.1	20.2	8.9	—
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	18,974	125	397	483	5円21銭

2. 第2四半期個別業績予想数値と実績値との差異及び通期個別業績予想の修正(金額の単位:百万円)

(1) 平成28年3月期第2四半期累計期間業績予想数値との差異(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	384	148	152	123	1円42銭
今回実績(B)	399	162	315	258	2円97銭
増減額(B-A)	15	14	162	134	—
増減率(%)	3.9	9.5	106.6	108.4	—
(ご参考)前期実績 (平成26年9月中間期)	488	39	357	386	4円16銭

(2) 平成28年3月期通期業績予想数値の修正

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	767	307	316	293	3円37銭
今回修正予想(B)	813	351	509	457	5円26銭
増減額(B-A)	45	44	192	164	—
増減率(%)	5.9	14.3	60.9	56.0	—
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	709	153	298	115	1円24銭

3. 業績修正等の理由

(1) 連結業績について

第2四半期累計期間につきましては、売上高、営業利益、経常利益及び純利益が前回の予想を上回りました。

その主な理由といたしましては、売上高は、ダイカスト事業(64百万円)及びリフォーム事業(37百万円)の増加などによるものであります。営業利益は、食品流通事業(14百万円)及び酒類製造事業(39百万円)における粗利率の上昇等によるものであります。経常利益は、売上高の増加、粗利率の上昇及び償却債権取立益の計上等によるものであります。純利益は、売上高の増加、粗利率の上昇及び償却債権取立益の計上等によるものであります。

通期につきましては、売上高、営業利益、経常利益及び純利益が前回の予想を上回る見込となりました。

その主な理由といたしましては、第2四半期累計期間において実績が予想を上回った額が通期においても計上されるためであります。

(2) 個別業績について

第2四半期累計期間につきましては、売上高、営業利益、経常利益及び純利益が前回の予想を上回りました。

その主な理由といたしましては、売上高は、当社子会社からの経営指導料収入の増加によるものであります。営業利益は、売上高の増加及び販売費及び一般管理費の減少によるものであります。経常利益は、売上高の増加、販売費及び一般管理費の減少、償却債権取立益、貸倒引当金戻入及び投資損失引当金戻入の計上等によるものであります。純利益は、売上高の増加、販売費及び一般管理費の減少、償却債権取立益、貸倒引当金戻入、投資損失引当金戻入の計上及び連結納税による税額の減少等によるものであります。

通期につきましては、売上高、営業利益、経常利益及び純利益が前回の予想を上回る見込となりました。

その主な理由といたしましては、第2四半期累計期間において実績が予想を上回った額が通期においても計上されるためであります。

Ⅲ. 剰余金の配当について

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 27 年 8 月 13 日公表)	前期実績 (平成 27 年 3 月期)
基準日	平成 27 年 9 月 30 日	平成 27 年 9 月 30 日	平成 26 年 9 月 30 日
1株当たりの配当金	1円50銭	1円00銭	1円00銭
配当金総額	130百万円	—	93百万円
効力発生日	平成 27 年 12 月 7 日	—	平成 26 年 12 月 8 日
配当原資	利益剰余金	—	資本剰余金

※配当予想は次のとおりとします。

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
配当予想		1円00銭	2円50銭
当期実績	1円50銭		
前期実績 (平成 27 年 3 月期)	1円00銭	1円50銭	2円50銭

(参考) 平成 27 年 5 月 15 日付「平成 27 年 3 月期 決算短信」
平成 27 年 8 月 13 日付「平成 28 年 3 月期 第1四半期決算短信」

以上